

平成29年度・内航タンカー船員実態調査報告書

平成30年3月26日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、及び関係者の理解促進に役立てることを目的に、平成17年に第一回目の調査を開始以後、毎年、**10月1日現在**における内航タンカーに乗船中の船員及び下船中船員の年齢構成、採用、退職状況等を調査しています。

平成29年度も、運送事業者(オペレーター)を経由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いいたしました。今年度も回収率を上げるべく、本部・支部事務局、対象事業者の協力を得て何度も提出をお願いしましたが、**回収率は78.1%(対象1,049隻の内、819隻の回答)**と、**前年度80.4%**(対象1,056隻の内、849隻の回答)を若干下回る結果となりました。

回収率の内訳をみると、船型では**200G/T未満の小型船(回収率57.7%)**、船種では**特タン船(回収率53.2%)**の回収率が低いため、次年度以降の課題ではありますが、小型船、特タン船の乗組員数が比較的少ない点、他の船型、船種では満遍なく回収されている点を考慮すると、概ね実態が反映される回収率と思われます。

今回の調査から推計される船員総数は、**9,001名(前年度8,938名)**で前年比約63名増となりました。これは、各船の**平均乗員数**が昨年度より**増加したこと(6.6名→6.8名)**、**新卒採用**が引き続き好調なこと(**295名→296名**)が要因に上げられ、船員不足の現状から、各社が新卒者等若年船員の積極採用に動き、船内で育てていこうという良い傾向が顕れて来たものと推測されます。

また、今回の調査による船員の**平均年齢は47.4才**(前年度48.1才)で、**0.7歳の若返り**となりました。これは、各社の若年船員等の採用増(30才未満船員割合16.8%→18.5%)によるものと、**60歳以上の船員数(27.0%)**が多くなっている状況から、退職者の絶対数も増加していることが要因かと思われます。

長年にわたり内航タンカー業界を支えて来た団塊世代の船員は、既に多数退職時期を迎えており、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このため、当委員会といたしましても、各種対策を実行することにより、組合員各社の船員問題への対応をサポートしていきたいと思っております。

最後になりますが、本調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に、改めて厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

1. 回答状況

(1)対象隻数 : 1,049隻

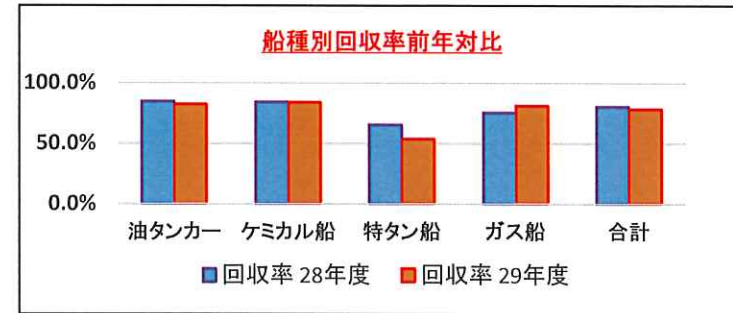
(2)回答隻数 : 819隻 (回収率:78.1%)

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者に船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率78.1%の内訳は下段表のとおり。(特タン船、小型船の事業者からの提出割合が低い)

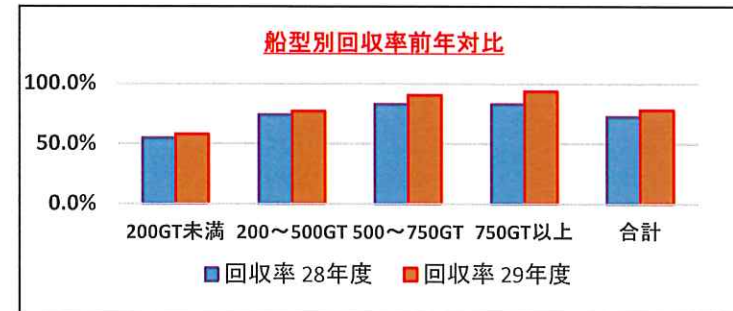
(3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
油タンカー	591	591	499	486	84.4%	82.2%
ケミカル船	181	179	152	150	84.0%	83.8%
特タン船	155	154	101	82	65.2%	53.2%
ガス船	129	125	97	101	75.2%	80.8%
合計	1,056	1,049	849	819	80.4%	78.1%



(4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
200GT未満	300	286	164	165	54.7%	57.7%
200～500GT	309	322	229	248	74.1%	77.0%
500～750GT	191	182	158	164	82.7%	90.1%
750GT以上	266	259	220	242	82.7%	93.4%
合計	1,066	1,049	771	819	72.3%	78.1%



(5)回答船員数

()は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)7,521名(7,581名) ①乗船中の船員数5,573名(5,584名) ②下船中の船員数1,948名(1,997名)

(6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

合計(乗船中・下船中)9,001名(8,938名) ①乗船中の船員数6,670名(6,584名) ②下船中の船員数2,331名(2,354名)

※ 前年度より推計船員数が63名多いのは、平均乗員数増加、新卒者増加等が反映されたものと推計される。

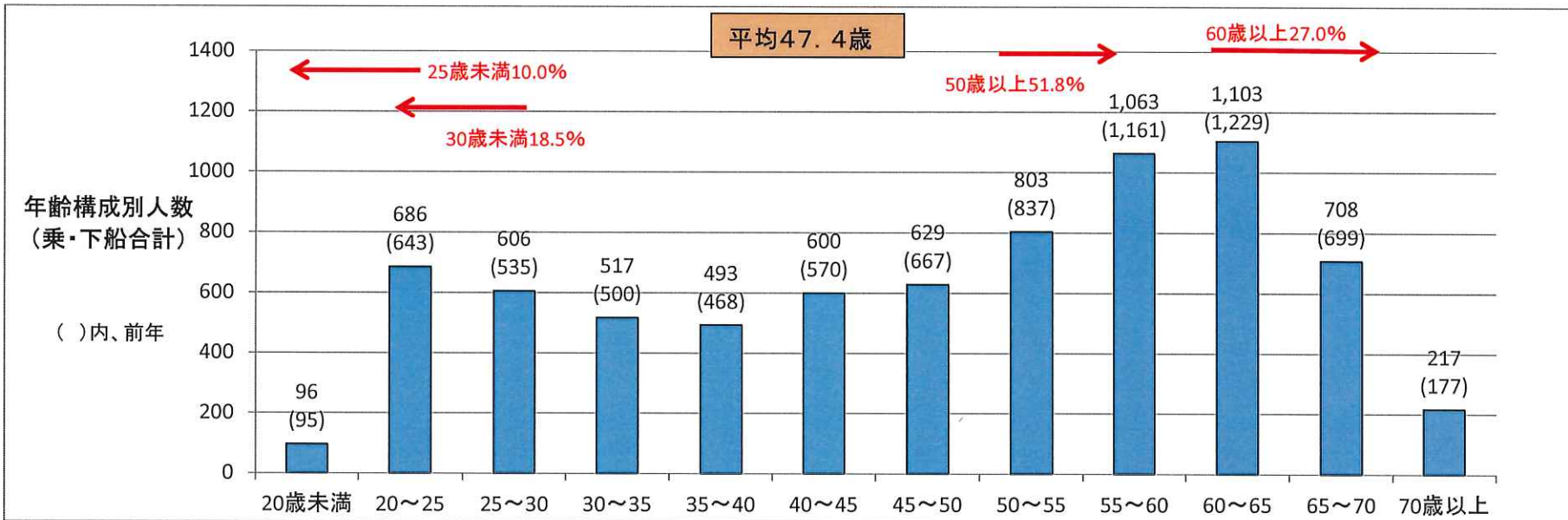
◎ 回答状況(詳細)

乗船中船員の集計	船種	船型区分 G/T	対象隻数 ①	回答隻数 ②	回収率 ③ (②/①)	回答船員数 ④	平均乗員数 ④/②	推計船員数 ⑤ (④/③)
	乗船中船員の集計	油タンカー	200未満	220	133	60.5%	450	3.4
～500未満			111	100	90.1%	524	5.2	582
～750未満			61	60	98.4%	427	7.1	434
～1000未満			40	39	97.5%	349	8.9	358
～1600未満			9	7	77.8%	67	9.6	86
～3000未満			35	34	97.1%	376	11.1	387
3000以上			115	113	98.3%	1,317	11.7	1,340
小計			591	486	82.2%	3,510	7.2	3,932
ケミカル船		200未満	6	2	33.3%	7	3.5	21
		～500未満	136	114	83.8%	629	5.5	750
		～750未満	33	30	90.9%	188	6.3	207
		～1000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		～1600未満	2	2	100.0%	23	11.5	23
		～3000未満	1	1	100.0%	9	9.0	9
		3000以上	1	1	100.0%	13	13.0	13
小計			179	150	83.8%	869	5.8	1,023
特々船		200未満	60	30	50.0%	118	3.9	236
		～500未満	64	27	42.2%	128	4.7	303
		～750未満	26	21	80.8%	134	6.4	166
		～1000未満	3	3	100.0%	28	9.3	28
		～1600未満	1	1	100.0%	10	10.0	10
	～3000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	3000以上	0	0	0.0%	0	0.0	0	
小計		154	82	53.2%	418	5.1	743	
ガス船	200未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	～500未満	11	7	63.6%	39	5.6	61	
	～750未満	62	53	85.5%	352	6.6	412	
	～1000未満	33	28	84.8%	243	8.7	286	
	～1600未満	7	6	85.7%	58	9.7	68	
	～3000未満	8	5	62.5%	58	11.6	93	
	3000以上	4	2	50.0%	26	13.0	52	
小計		125	101	80.8%	776	7.7	972	
合計	200未満	286	165	57.7%	575	3.5	1,001	
	～500未満	322	248	77.0%	1,320	5.3	1,697	
	～750未満	182	164	90.1%	1,101	6.7	1,219	
	～1000未満	76	70	92.1%	620	8.9	672	
	～1600未満	19	16	84.2%	158	9.9	187	
	～3000未満	44	40	90.9%	443	11.1	489	
	3000以上	120	116	96.7%	1,356	11.7	1,405	
合計		1,049	819	78.1%	5,573	6.8	6,670	
下船中船員の集計						回答船員数 ⑥	予備員率 ⑦(⑥/④+1)	推計予備員数 ⑧(⑤×⑦-⑤)
						1,948	1.35	2,331
総合計 (⑤+⑧)				回答数計	7,521	推計船員数	9,001	

2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

(1)年齢区分別人数

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70歳以上	計
乗船中	人数	63	481	444	389	371	450	479	611	788	810	525	162	5,573
	年齢計	1,171	10,581	11,897	12,487	13,708	18,947	22,561	31,890	45,012	50,204	34,994	11,708	265,160
	平均年齢	18.6	22.0	26.8	32.1	36.9	42.1	47.1	52.2	57.1	62.0	66.7	72.3	47.6
	比率	1.1%	8.6%	8.0%	7.0%	6.7%	8.1%	8.6%	11.0%	14.1%	14.5%	9.4%	2.9%	100%
下船中	人数	33	205	162	128	122	150	150	192	275	293	183	55	1,948
	年齢計	619	4,512	4,364	4,078	4,520	6,298	7,042	10,006	15,685	18,154	12,210	3,970	91,458
	平均年齢	18.8	22.0	26.9	31.9	37.0	42.0	46.9	52.1	57.0	62.0	66.7	72.2	46.9
	比率	1.7%	10.5%	8.3%	6.6%	6.3%	7.7%	7.7%	9.9%	14.1%	15.0%	9.4%	2.8%	100%
合計	人数	96	686	606	517	493	600	629	803	1,063	1,103	708	217	7,521
	年齢計	1,790	15,093	16,261	16,565	18,228	25,245	29,603	41,896	60,697	68,358	47,204	15,678	356,618
	平均年齢	18.6	22.0	26.8	32.0	37.0	42.1	47.1	52.2	57.1	62.0	66.7	72.2	47.4
	比率	1.3%	9.1%	8.1%	6.9%	6.6%	8.0%	8.4%	10.7%	14.1%	14.7%	9.4%	2.9%	100%
女性船員(上記の内数)	0	18	7	2	1	3	5	0	0	1	0	0	37	前年比8名増、平均年齢29.9歳、甲板職員18名(内、一航6名)、甲板部員10名、機関職員7名(内、機関長3名)、機関部員1名、司厨員1名
派遣船員(上記の内数)	2	29	23	18	14	15	21	29	40	61	60	24	336	前年比6名増、平均年齢58.0歳、甲板職員120名、甲板部員74名、機関職員89名、機関部員13名、司厨員40名



① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は**47.4歳**(前年度48.1歳)で、0.7歳若返った。

② 要因として、30歳未満の若年船員がここ数年各社の積極的な新卒採用により増加していることと、60歳以上船員の退職者が増加していることが考えられる。

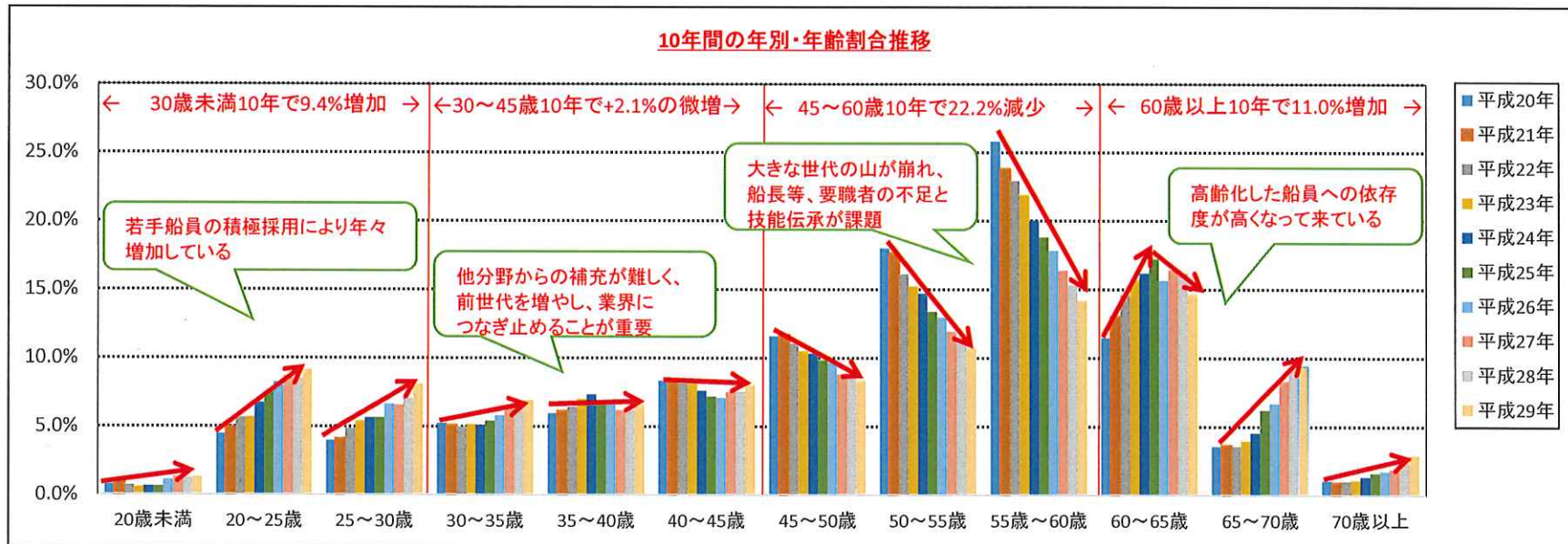
3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

(1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	報告船員数
平成20年	57	345	307	404	461	646	899	1,397	2,004	890	275	81	7,766
平成21年	82	375	308	384	464	624	886	1,342	1,808	987	274	68	7,602
平成22年	48	390	336	344	442	566	762	1,111	1,582	1,005	247	71	6,904
平成23年	38	385	367	349	475	551	715	1,037	1,494	1,070	268	72	6,821
平成24年	42	453	379	342	493	512	696	992	1,354	1,092	306	89	6,750
平成25年	39	495	372	356	453	475	651	885	1,246	1,142	410	105	6,629
平成26年	75	575	462	405	478	495	674	906	1,247	1,095	467	120	6,999
平成27年	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
平成28年	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
平成29年	96	686	606	517	493	600	629	803	1,063	1,103	708	217	7,521
合計	657	4,925	4,108	4,022	4,638	5,539	7,166	10,105	14,051	10,708	4,208	1,124	71,251

(2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	合計
平成20年	0.7%	4.4%	4.0%	5.2%	5.9%	8.3%	11.6%	18.0%	25.8%	11.5%	3.5%	1.0%	100.0%
平成21年	1.1%	4.9%	4.1%	5.1%	6.1%	8.2%	11.7%	17.7%	23.8%	13.0%	3.6%	0.9%	100.0%
平成22年	0.7%	5.6%	4.9%	5.0%	6.4%	8.2%	11.0%	16.1%	22.9%	14.6%	3.6%	1.0%	100.0%
平成23年	0.6%	5.6%	5.4%	5.1%	7.0%	8.1%	10.5%	15.2%	21.9%	15.7%	3.9%	1.1%	100.0%
平成24年	0.6%	6.7%	5.6%	5.1%	7.3%	7.6%	10.3%	14.7%	20.1%	16.2%	4.5%	1.3%	100.0%
平成25年	0.6%	7.5%	5.6%	5.4%	6.8%	7.2%	9.8%	13.4%	18.8%	17.2%	6.2%	1.6%	100.0%
平成26年	1.1%	8.2%	6.6%	5.8%	6.8%	7.1%	9.6%	12.9%	17.8%	15.6%	9.6%	1.7%	100.0%
平成27年	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100.0%
平成28年	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100.0%
平成29年	1.3%	9.1%	8.1%	6.9%	6.6%	8.0%	8.4%	10.7%	14.1%	14.7%	9.4%	2.9%	100.0%



5. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

(1) 総トン数別平均年齢

	29年度				25年度 平均年齢	26年度 平均年齢	27年度 平均年齢	28年度 平均年齢	29年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
200未満	165	575	3.5	29,799	52.7	52.0	52.9	52.3	51.8
500未満	248	1,320	5.3	67,445	51.4	51.2	51.4	51.3	51.1
750未満	164	1,101	6.7	54,458	50.5	50.1	50.2	50.6	49.5
1000未満	70	620	8.9	29,521	47.9	48.3	47.8	47.7	47.6
1600未満	16	158	9.9	6,968	47.4	47.5	44.9	44.2	44.1
3000未満	40	443	11.1	19,335	44.4	43.8	43.8	44.1	43.6
3000以上	116	1,356	11.7	57,634	43.5	42.7	42.7	42.8	42.5
合計	819	5,573	6.8	265,160	48.6	47.9	48.0	48.1	47.6

・本年度の平均年齢は若干若返り47.6歳であったが、船型別にみると、200GT未満船の51.7歳に対して3,000GT以上船は42.5歳であり、小型船／大型船では平均年齢に約10歳の開きがある。

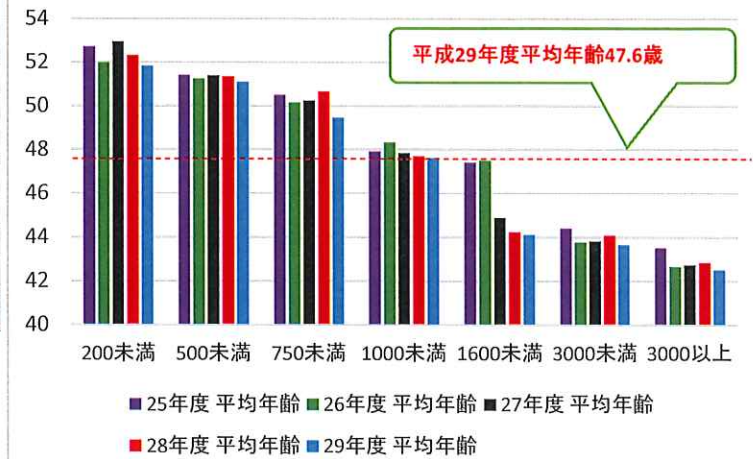
(2) 船種別平均年齢(乗船中)

	29年度				25年度 平均年齢	26年度 平均年齢	27年度 平均年齢	28年度 平均年齢	29年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
油タンカー	486	3,510	7.2	162,762	48.0	47.2	46.7	47.1	46.4
ケミカル船	150	869	5.8	43,691	51.2	49.8	51.0	50.6	50.3
特タン船	82	418	5.1	21,405	50.3	49.2	51.9	50.6	51.2
ガス船	101	776	7.7	37,302	48.0	48.4	48.0	48.5	48.1
合計	819	5,573	6.8	265,160	48.5	48.6	48.0	48.1	47.6

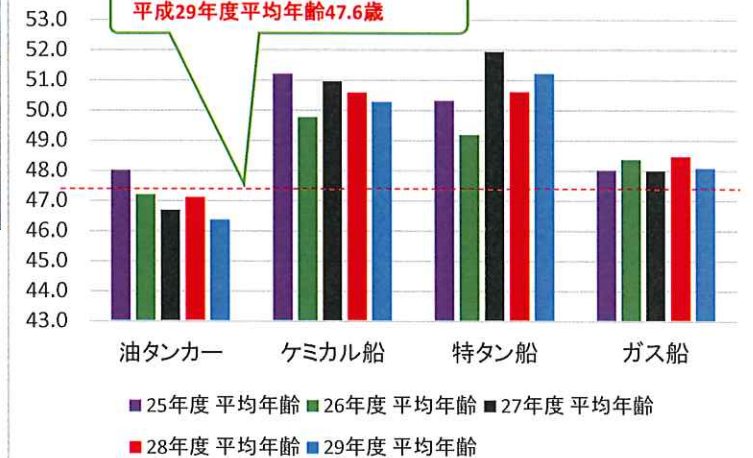
・平成29年度で平均年齢を下回るのは油タンカー(46.4歳)のみであった。

・特に、ケミカル船と特タン船の平均年齢は、50歳以上と高齢化が顕著である。

総トン数別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



船種別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



(年齢構成:船種別詳細①)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
白	200未満	1	4	14	7	15	11	17	14	17	23	13	15	151
	～500未満	1	4	12	10	13	13	12	22	24	39	33	5	188
	～750未満	1	19	33	20	26	28	25	55	49	64	42	8	370
	～1000未満	2	10	20	15	6	6	12	13	15	15	17	8	139
	～1600未満	1	8	3	7	4	6	6	7	6	5	4	1	58
	～3000未満	9	52	27	26	23	26	20	31	46	45	25	2	332
	3000以上	16	156	85	70	46	82	70	98	107	97	38	3	868
	人数	31	253	194	155	133	172	162	240	264	288	172	42	2,106
	年齢計	572	5,577	5,175	4,959	4,920	7,258	7,653	12,524	15,059	17,842	11,459	3,034	96,032
平均	18.5	22.0	26.7	32.0	37.0	42.2	47.2	52.2	57.0	62.0	66.6	72.2	45.6	
黒	200未満	0	8	20	18	24	34	36	34	29	29	41	26	299
	～500未満	2	18	22	22	27	34	32	24	47	59	39	10	336
	～750未満	0	3	3	6	4	4	3	6	10	17	1	0	57
	～1000未満	3	16	17	12	11	16	17	18	34	37	24	5	210
	～1600未満	0	2	3	0	2	0	0	0	1	1	0	0	9
	～3000未満	2	4	0	3	5	6	2	6	6	8	2	0	44
	3000以上	6	57	48	40	29	38	43	53	63	49	21	2	449
	人数	13	108	113	101	102	132	133	141	190	200	128	43	1,404
	年齢計	243	2,354	3,054	3,245	3,758	5,558	6,266	7,351	10,853	12,398	8,540	3,110	66,730
平均	18.7	21.8	27.0	32.1	36.8	42.1	47.1	52.1	57.1	62.0	66.7	72.3	47.5	
ケミカル	200未満	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	4	0	7
	～500未満	5	19	30	40	48	45	50	57	126	107	74	28	629
	～750未満	0	15	12	11	14	12	27	37	17	24	14	5	188
	～1000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～1600未満	0	3	4	0	0	2	2	2	7	3	0	0	23
	～3000未満	0	0	1	0	2	2	0	2	1	1	0	0	9
	3000以上	0	1	3	3	0	1	4	0	0	0	1	0	13
	人数	5	38	50	54	64	64	83	99	151	135	93	33	869
	年齢計	94	834	1,345	1,737	2,362	2,676	3,907	5,167	8,637	8,350	6,197	2,385	43,691
平均	18.8	21.9	26.9	32.2	36.9	41.8	47.1	52.2	57.2	61.9	66.6	72.3	50.3	

(年齢構成:船種別詳細②)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
特タン	200未満	1	2	1	6	7	6	10	12	18	20	22	13	118
	～500未満	1	3	9	10	10	13	11	14	8	29	16	4	128
	～750未満	1	7	9	7	10	10	12	10	27	19	20	2	134
	～1000未満	1	3	3	1	2	4	1	5	3	4	1	0	28
	～1600未満	0	2	0	2	0	0	0	2	2	1	0	1	10
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	4	17	22	26	29	33	34	43	58	73	59	20	418
	年齢計	75	377	595	845	1,069	1,389	1,596	2,233	3,306	4,537	3,926	1,457	21,405
	平均	18.8	22.2	27.0	32.5	36.9	42.1	46.9	51.9	57.0	62.2	66.5	72.9	51.2
ガス	200未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～500未満	0	1	1	0	3	0	5	4	7	9	5	4	39
	～750未満	4	18	21	20	18	27	29	47	62	56	39	11	352
	～1000未満	4	21	22	19	17	14	17	24	36	36	25	8	243
	～1600未満	1	5	8	4	3	3	7	7	11	6	3	0	58
	～3000未満	1	14	7	7	0	4	6	5	7	5	1	1	58
	3000以上	0	6	6	3	2	1	3	1	2	2	0	0	26
	人数	10	65	65	53	43	49	67	88	125	114	73	24	776
	年齢計	187	1,439	1,728	1,701	1,599	2,066	3,139	4,615	7,157	7,077	4,872	1,722	37,302
	平均	18.7	22.1	26.6	32.1	37.2	42.2	46.9	52.4	57.3	62.1	66.7	71.8	48.1
合計	200未満	2	14	35	31	46	53	63	61	64	72	80	54	575
	～500未満	9	45	74	82	101	105	110	121	212	243	167	51	1,320
	～750未満	6	62	78	64	72	81	96	155	165	180	116	26	1,101
	～1000未満	10	50	62	47	36	40	47	60	88	92	67	21	620
	～1600未満	2	20	18	13	9	11	15	18	27	16	7	2	158
	～3000未満	12	70	35	36	30	38	28	44	60	59	28	3	443
	3000以上	22	220	142	116	77	122	120	152	172	148	60	5	1,356
	人数	63	481	444	389	371	450	479	611	788	810	525	162	5,573
	年齢計	1,171	10,581	11,897	12,487	13,708	18,947	22,561	31,890	45,012	50,204	34,994	11,708	265,160
	平均	18.6	22.0	26.8	32.1	36.9	42.1	47.1	52.2	57.1	62.0	66.7	72.3	47.6

4. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,110	61,761	55.6
一航士	979	46,828	47.8
次席一航士	225	10,902	48.5
二航士	783	35,216	45.0
三航士	235	8,193	34.9
小計	3,332	162,900	48.9
甲板長	282	14,768	52.4
甲板手	505	19,774	39.2
甲板員	498	17,842	35.8
見習い	25	586	23.4
司厨員	461	24,458	53.1
小計	1,771	77,428	43.7
機関長	1,058	58,436	55.2
一機士	740	35,881	48.5
次席一機士	74	3,245	43.9
二機士	235	8,698	37.0
三機士	15	411	27.4
小計	2,122	106,671	50.3
操機長	37	1,608	43.5
操機手	38	990	26.1
機関員	207	6,661	32.2
見習い	14	360	25.7
小計	296	9,619	32.5
合計	7,521	356,618	47.4

(職種別平均年齢の前年対比)

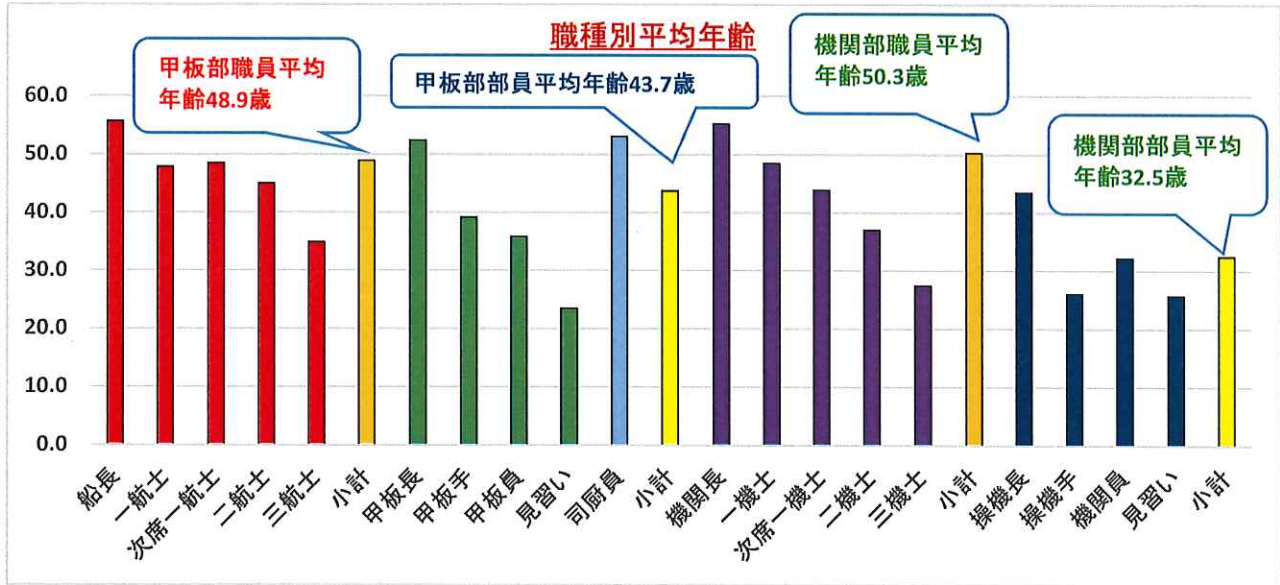
職種	28年度	29年度
甲板部職員	49.5歳	48.9歳
部員	44.5歳	43.7歳
機関部職員	50.6歳	50.3歳
部員	32.3歳	32.5歳

(2) 航海/機関別

(注)本表中、司厨員は甲板部員に参入

29年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,332	162,900	48.9
	部員	1,771	77,428	43.7
	小計	5,103	240,328	47.1
機関部	職員	2,122	106,671	50.3
	部員	296	9,619	32.5
	小計	2,418	116,290	48.1
合計		7,521	356,618	47.4

28年度(参考)		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,378	167,213	49.5
	部員	1,770	78,785	44.5
	小計	5,148	245,998	47.8
機関部	職員	2,166	109,703	50.6
	部員	267	8,624	32.3
	小計	2,433	118,327	48.6
合計		7,581	364,325	48.1



- ・平成29年度の職種毎の平均年齢は表のとおりである。
- ・前年度平均年齢と比較すると、甲板部職員は0.6歳、甲板部部員は0.8歳、機関部職員は0.3歳下がり、機関部部員は0.2歳上がった。

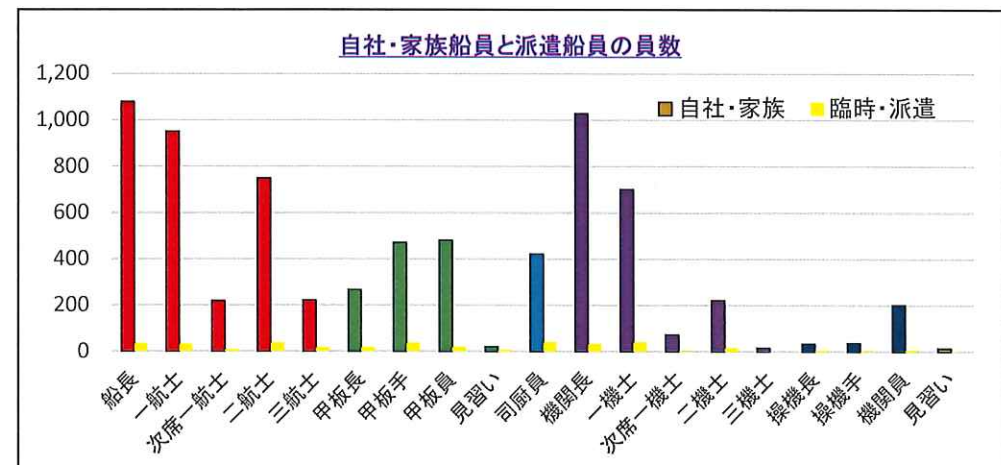
6. 入社歴及び前職

(1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

	船員数	内訳(*1)		入社歴計	平均入社歴(*2)
		自社・家族	臨時・派遣		
船長	1,110	1,077	33	16,073	14.9
一航士	979	949	30	9,420	9.9
次席一航士	225	218	7	1,499	6.9
二航士	783	748	35	4,642	6.2
三航士	235	220	15	1,037	4.7
小計	3,332	3,212	120	32,671	10.2
甲板長	282	266	16	3,239	12.2
甲板手	505	470	35	2,646	5.6
甲板員	498	480	18	1,765	3.7
見習い	25	20	5	98	4.9
司厨員	461	421	40	3,174	7.5
小計	1,771	1,657	114	10,922	6.6
機関長	1,058	1,026	32	13,384	13.0
一機士	740	700	40	5,450	7.8
次席一機士	74	72	2	419	5.8
二機士	235	220	15	888	4.0
三機士	15	15	0	36	2.4
小計	2,122	2,033	89	20,177	9.9
操機長	37	33	4	277	8.4
操機手	38	36	2	120	3.3
機関員	207	201	6	510	2.5
見習い	14	13	1	30	2.3
小計	296	283	13	937	3.3
合計	7,521	7,185	336	64,707	9.0

(*1): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

・自社・家族船員と臨時・派遣船員の比率は、**自社・家族95.5%**(前年度95.6%)、**臨時・派遣4.5%**(前年度4.4%)で、大きな変動はなかった。



(2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	96	42	425	167	62	27	54	21	100	91	25	1,110
一航士	121	25	327	146	58	20	59	3	87	114	19	979
次席一航士	22	4	98	36	14	4	11	1	11	22	2	225
二航士	146	5	238	87	38	9	75	5	65	102	13	783
三航士	90	1	60	10	9	2	14	2	10	37	0	235
小計	475	77	1,148	446	181	62	213	32	273	366	59	3,332
割合	14.3%	2.3%	34.5%	13.4%	5.4%	1.9%	6.4%	1.0%	8.2%	11.0%	1.8%	100%
甲板長	22	13	96	20	12	4	15	1	47	49	3	282
甲板手	137	12	148	7	10	1	29	2	43	114	2	505
甲板員	114	26	80	7	3	2	33	1	35	190	7	498
見習い	14	3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	25
司厨員	13	9	136	9	25	3	29	8	33	190	6	461
小計	300	63	460	43	50	10	106	12	158	551	18	1,771
割合	16.9%	3.6%	26.0%	2.4%	2.8%	0.6%	6.0%	0.7%	8.9%	31.1%	1.0%	100.0%
機関長	64	22	397	152	56	32	63	28	119	103	22	1,058
一機士	87	11	270	102	33	8	56	6	64	92	11	740
次席一機士	11	1	29	7	4	1	4	0	7	8	2	74
二機士	80	5	58	16	9	0	8	0	17	40	2	235
三機士	9	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	15
小計	251	39	754	277	102	41	132	34	207	248	37	2,122
割合	11.8%	1.8%	35.5%	13.1%	4.8%	1.9%	6.2%	1.6%	9.8%	11.7%	14.9%	100%
操機長	7	3	7	3	1	1	2	0	5	8	0	37
操機手	24	0	3	2	1	0	1	1	3	3	0	38
機関員	60	16	17	9	1	2	3	1	8	84	6	207
見習い	5	4	0	0	0	0	1	0	0	4	0	14
小計	96	23	27	14	3	3	7	2	16	99	6	296
総計	1,122	202	2,389	780	336	116	458	80	654	1,264	120	7,521
割合	14.9%	2.7%	31.8%	10.4%	4.5%	1.5%	6.1%	1.1%	8.7%	16.8%	1.6%	100%

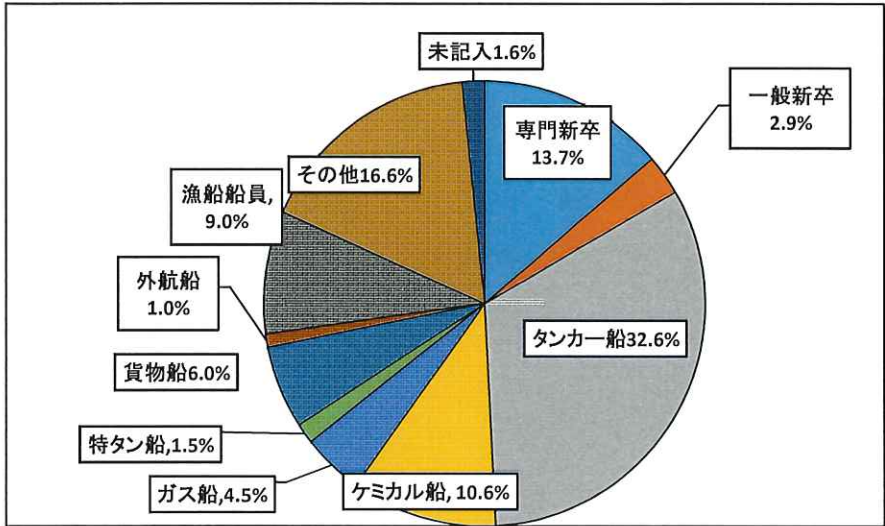
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、**タンカー経験者31.8%**、その他16.8%、**専門学校新卒者が14.9%**、**ケミカル船が10.4%**、**漁船が8.7%**、**貨物船が6.1%**となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

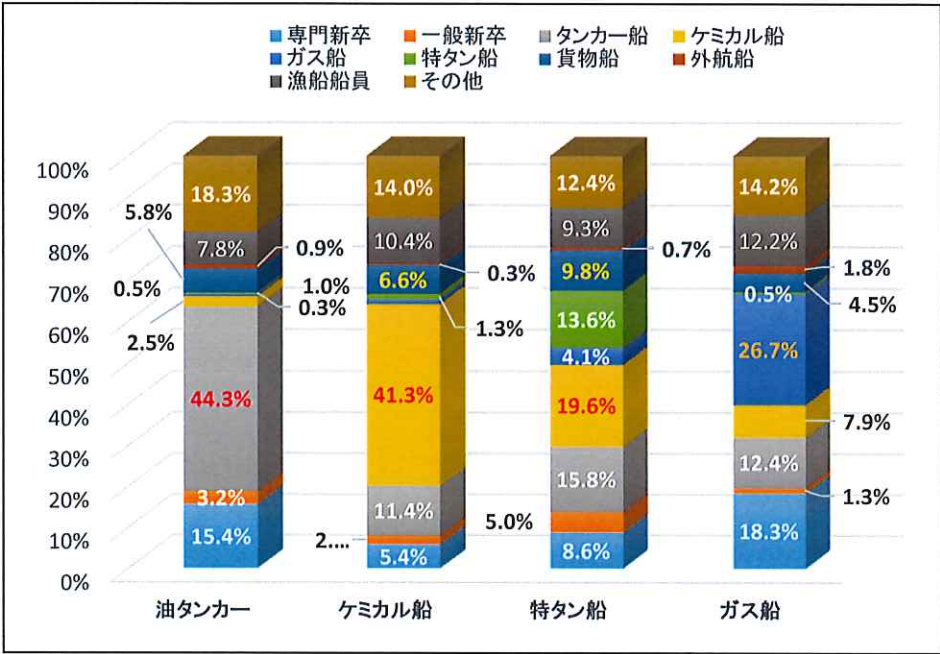
	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	541	113	1,554	89	19	10	202	33	275	643	31	3,510
ケミカル船	47	18	99	359	9	11	57	3	90	122	54	869
特タン船	36	21	66	82	17	57	41	3	39	52	4	418
ガス船	142	10	96	61	207	4	35	14	95	110	2	776
合計	766	162	1,815	591	252	82	335	53	499	927	91	5,573
比率	13.7%	2.9%	32.6%	10.6%	4.5%	1.5%	6.0%	1.0%	9.0%	16.6%	1.6%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	15.4%	3.2%	44.3%	2.5%	0.5%	0.3%	5.8%	0.9%	7.8%	18.3%
ケミカル船	5.4%	2.1%	11.4%	41.3%	1.0%	1.3%	6.6%	0.3%	10.4%	14.0%
特タン船	8.6%	5.0%	15.8%	19.6%	4.1%	13.6%	9.8%	0.7%	9.3%	12.4%
ガス船	18.3%	1.3%	12.4%	7.9%	26.7%	0.5%	4.5%	1.8%	12.2%	14.2%



※油タンカー、ケミカル船は、同じ船種に戻る割合が高く、ガス船もやや低い傾向。

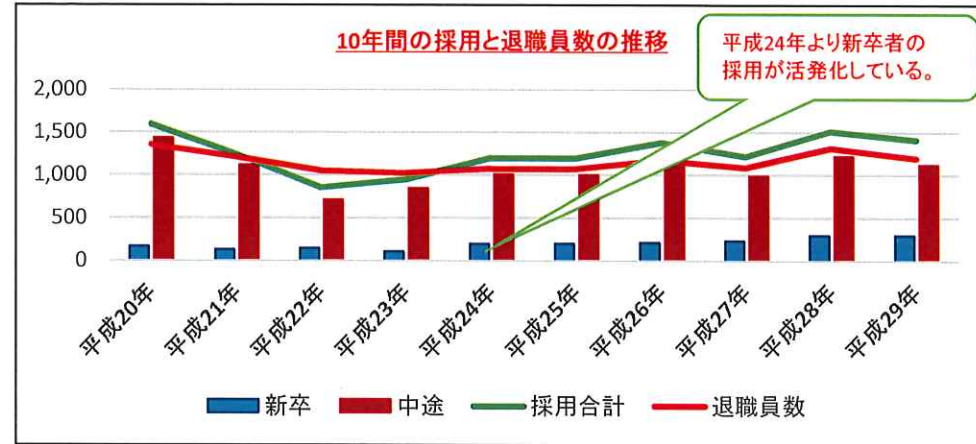
※特タン船は、ケミカル船からの転職者が、特タン船からの転職者を上回っている。



7. 採用・退職関係

(1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数－ 退職員数
平成20年	165	1,428	1,593	1,350	243
平成21年	128	1,111	1,239	1,207	32
平成22年	143	706	849	1,044	-195
平成23年	106	839	945	1,017	-72
平成24年	195	1,003	1,198	1,069	129
平成25年	198	997	1,195	1,063	132
平成26年	211	1,167	1,378	1,164	214
平成27年	232	986	1,218	1,082	136
平成28年	295	1,217	1,512	1,309	203
平成29年	296	1,116	1,412	1,190	222
合計	1,969	10,570	12,539	11,495	1,044

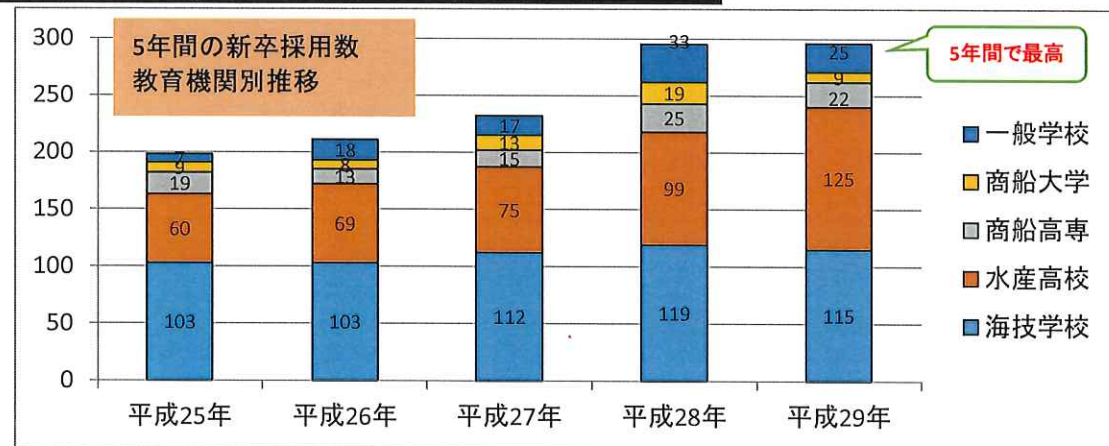
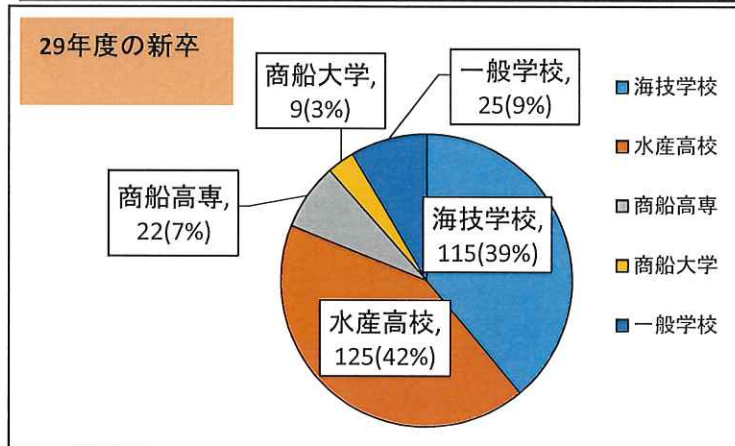


※採用人数12,539名の内、中途採用者は10,570名と全体の84.3%を占めている。

(2) 新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳

	新卒						中途			合計
	海技学校	水産高校	商船高専	商船大学	一般学校	小計	元船員	船員以外	小計	
平成25年	103	60	19	9	7	198	897	100	997	1,195
平成26年	103	69	13	8	18	211	1,008	159	1,167	1,378
平成27年	112	75	15	13	17	232	830	156	986	1,218
平成28年	119	99	25	19	33	295	985	232	1,217	1,512
平成29年	115	125	22	9	25	296	884	232	1,116	1,412
合計	552	428	94	58	100	1,232	4,604	879	5,483	6,715
	44.8%	34.7%	7.6%	4.7%	8.1%	100.0%	84.0%	16.0%	100.0%	

※教育機関別の採用数は、5年間合計では、海技学校・短大が44.8%とほぼ半数だが、平成29年度は水産高校が初めて教育機関別で最多(125名)となった。



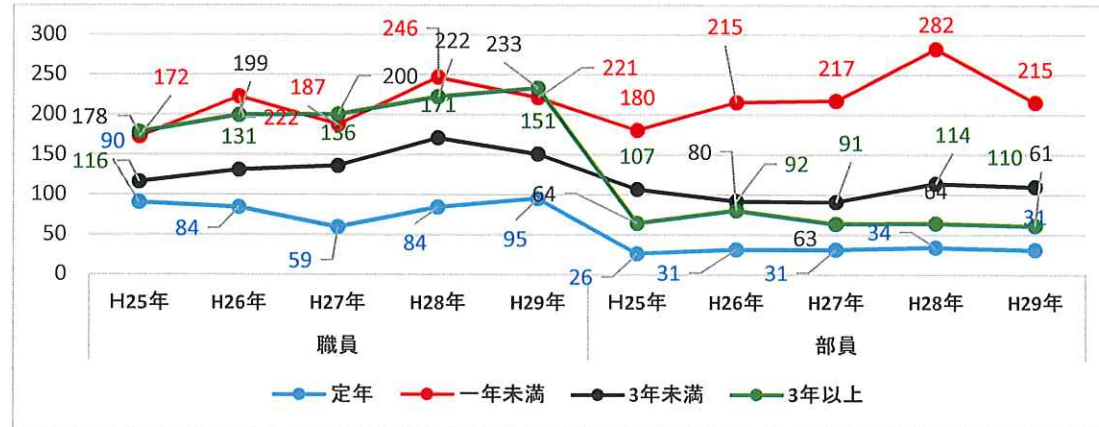
(3)平成29年度退職状況

	職 員				部 員				職・部員合計					
	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	比率	
定年	49	42	4	95	14	5	12	31	63	47	16	126	10.6%	
死亡・障害	12	3	0	15	1	0	0	1	13	3	0	16	1.3%	
自己都合	一年未満	114	90	17	221	142	45	28	215	256	135	45	436	36.6%
	3年未満	77	64	10	151	78	17	15	110	155	81	25	261	21.9%
	3年以上	126	101	6	233	46	3	12	61	172	104	18	294	24.7%
会社都合・他	一年未満	10	7	0	17	10	2	0	12	20	9	0	29	2.4%
	3年未満	5	4	0	9	1	0	1	2	6	4	1	11	0.9%
	3年以上	9	2	0	11	4	0	2	6	13	2	2	17	1.4%
計		402	313	37	752	296	72	70	438	698	385	107	1,190	100.0%

(4)平成25～29年在籍期間対比(5年間)

(会社都合は除く)

	職 員					部 員					総計	%
	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年		
定年	90	84	59	84	95	26	31	31	34	31	565	10.7%
一年未満	172	222	187	246	221	180	215	217	282	215	2,157	40.7%
3年未満	116	131	136	171	151	107	92	91	114	110	1,219	23.0%
3年以上	178	199	200	222	233	64	80	63	64	61	1,364	25.7%
計	556	636	582	723	700	377	418	402	494	417	5,305	100.0%



平成29年度・退職者比率

※一年未満退職者<<自己都合36.6%,会社都合2.4%>>

※一年以上3年未満退職者<<自己都合21.9%,会社都合0.9%>>

※3年以上退職者<<自己都合24.7%,会社都合1.4%>>

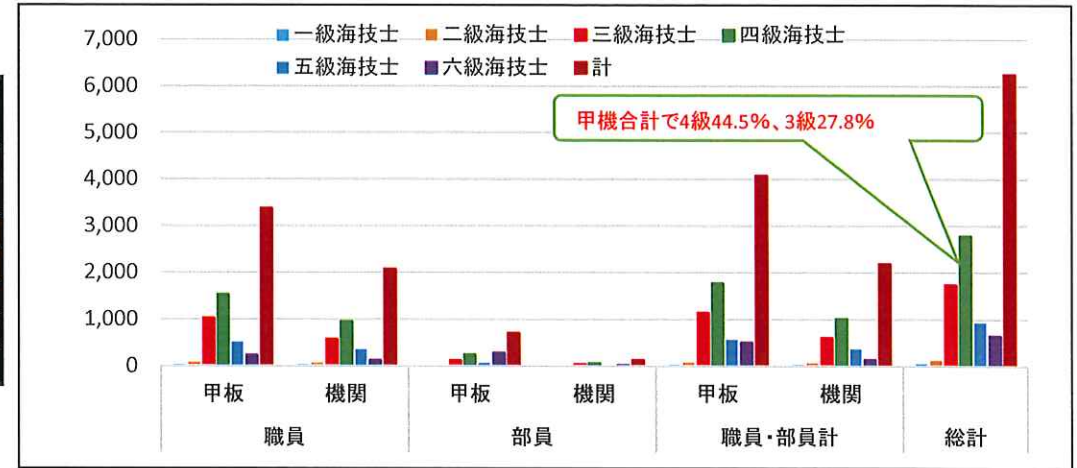
(5年間統計)

※自己都合により、一年未満での退職40.7%、一年以上3年未満23.0%、3年以上25.7%。3年未満で退職するものが63.7%。

8. 海技免状保有状況

①甲・機別保有者数

	職員		部員		職員・部員計		総計	比率
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関		
一級海技士	23	24	1	0	24	24	48	0.8%
二級海技士	63	51	3	0	66	51	117	1.9%
三級海技士	1,022	568	115	30	1,137	598	1,735	27.8%
四級海技士	1,527	952	246	58	1,773	1,010	2,783	44.5%
五級海技士	503	346	58	16	561	362	923	14.8%
六級海技士	230	120	276	17	506	137	643	10.3%
計	3,368	2,061	699	121	4,067	2,182	6,249	100.0%



②年齢別保有数

イ)航海士

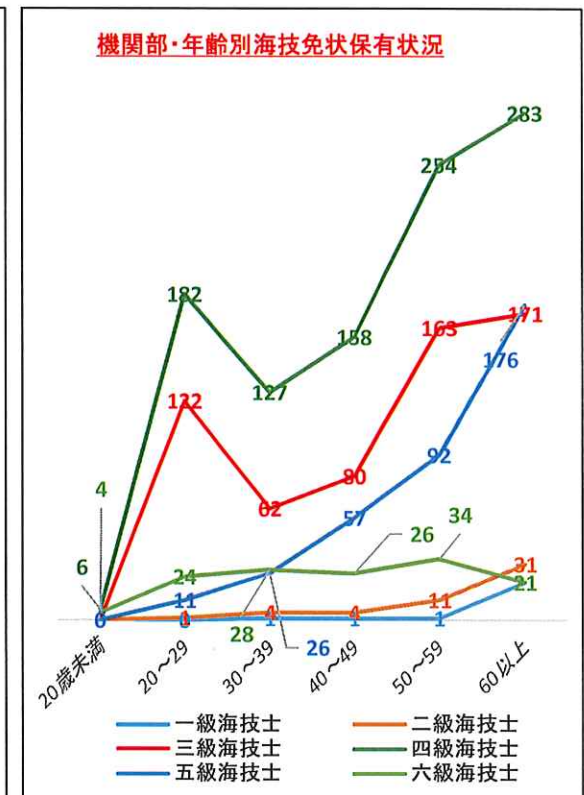
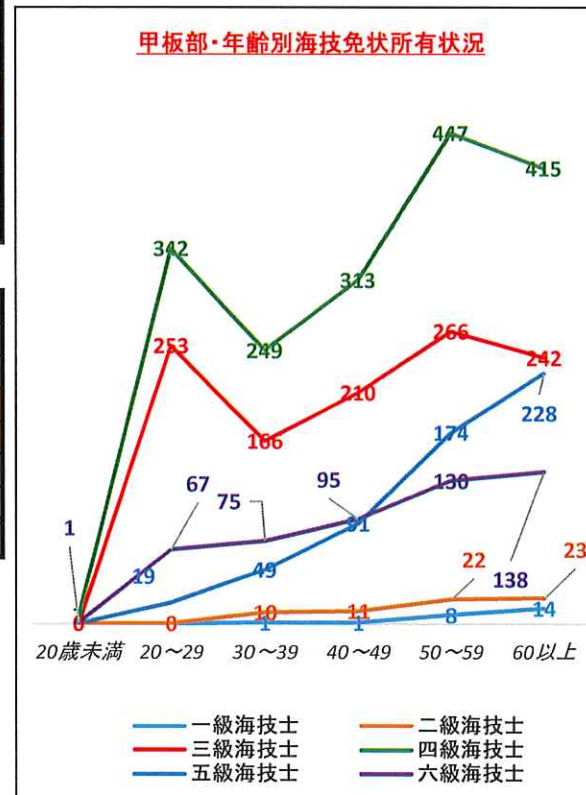
	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	1	1	8	14	24
二級海技士	0	0	10	11	22	23	66
三級海技士	0	253	166	210	266	242	1,137
四級海技士	7	342	249	313	447	415	1,773
五級海技士	0	19	49	91	174	228	561
六級海技士	1	67	75	95	130	138	506
計	8	681	550	721	1,047	1,060	4,067

ロ)機関士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	1	1	1	21	24
二級海技士	0	1	4	4	11	31	51
三級海技士	0	122	62	80	163	171	598
四級海技士	6	182	127	158	254	283	1,010
五級海技士	0	11	26	57	92	176	362
六級海技士	4	24	28	26	34	21	137
計	10	340	248	326	555	703	2,182

※甲板部・機関部とも4級、3級海技士が主流

※6級海技士の部員の所有状況は甲板276名に対し機関17名と少ない。



9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	211	81	292	72.3%
下船中	82	26	108	75.9%
計	293	107	400	73.3%

※未回答、又は甲板、機関免状を記載した回答は集計除外(61名)

10. 船員不足の考察

① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数
25	176	583	3.3	230	1,208	5.3	155	1,031	6.7	58	521	9.0	24	240	10.0	42	452	10.8	89	1,014	11.4	774	5,049	6.5
26	160	552	3.5	211	1,083	5.1	161	1,075	6.7	61	544	8.9	23	226	9.8	45	477	10.6	110	1,237	11.2	771	5,194	6.7
27	164	520	3.2	229	1,132	4.9	158	1,012	6.4	54	475	8.8	22	212	9.6	44	461	10.5	100	1,115	11.2	771	4,927	6.4
28	188	622	3.3	257	1,338	5.2	166	1,105	6.7	66	602	9.1	17	174	10.2	40	429	10.7	115	1,315	11.4	849	5,585	6.6
29	165	575	3.5	248	1,320	5.3	164	1,101	6.7	70	620	8.9	16	158	9.9	40	443	11.1	116	1,356	11.7	819	5,573	6.8
計	853	2,852	3.3	1,175	6,081	5.2	804	5,324	6.6	309	2,762	8.9	102	1,010	9.9	211	2,262	10.7	530	6,037	11.4	3,984	26,328	6.6

※ 平成29年度の各船型の平均乗員数は、5年間の中で7船型中5船型が僅かではあるが最大員数となっている。教育乗船の増加が表れたものと推測される。

② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
25	5,049	1,580	6,629	1.31
26	5,194	1,805	6,999	1.35
27	4,927	1,751	6,678	1.36
28	5,585	1,997	7,582	1.36
29	5,573	1,948	7,521	1.35
計	26,328	9,081	35,409	1.34

※予備員率は5年間平均で1.34で、25年度の1.31を除けば、毎年同じ傾向

③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計 船員数	自社・ 家族 船員数	臨時・ 派遣 船員数	臨時・ 派遣 比率
25	6,629	6,200	429	6.5%
26	6,999	6,632	367	5.2%
27	6,678	6,337	325	4.9%
28	7,578	7,248	330	4.4%
29	7,521	7,185	336	4.5%
計	35,405	33,602	1,787	5.0%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で5.0%、29年度は4.5%で、平均を下回る

④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員 (甲)	部員 (甲)	職員 (機)	部員 (機)	計	職員 (甲機) 割合
25	159	142	121	7	429	65.3%
26	143	110	104	10	367	67.3%
27	118	106	93	8	325	64.9%
28	119	115	88	8	330	62.7%
29	120	114	89	13	336	62.2%
計	659	587	495	46	1,787	64.6%
割合	36.9%	32.8%	27.7%	2.6%	100.0%	

※臨時・派遣船員は6割以上が職員として就労、機関に限れば9割以上。

(考察)

1. 安全最小定員数と実乗船員数

船員法等を遵守する最小船員数は、航海時間16時間超500トン未満の法定定員は、航海士2名+1名(航海当直要員)、機関士2名の計5名となる。さらに着離棧、荷役作業を考慮すると最低6名は必要となる。500トン未満船の5年間平均での実乗船員数は5.2名となっており、ギリギリの員数で運航している船舶が多数あるものと推測される。

2. 予備員数

平成29年度の予備員率は上表のとおり1.35(5年間平均1.34)である。年間休日110日(休暇105+乗下船5)を付与するための理想の予備員率を1.43として逆算すると約450名が不足していることとなる。また、この値を推計船員数9,001名(乗船中6,670名、下船中2,331名)で置き換えると、約540名の不足となる。

3. 臨時・派遣船員

平成29年度は、336名の船員が派遣され、特に、甲・機職員への派遣が6割以上を占めている。言い換えれば、336人の船員が自社で賄えない不足した船員と捉えることも出来る。今後は、退職船員の増加により派遣船員の供給不足も考えられ、停船を余儀なくされる船舶が増加することが危惧される。上表③では派遣船員数、比率は減少傾向となっているが、未回収船舶は派遣割合が高いとの推測もあり、より正確な実態把握には回収率の向上が課題である。

4. 船員不足への対応

船員不足の実態は、乗船定員、予備員率、船員派遣等、各々の調査結果に現れている。この結果に危機感をもって、若年船員確保や高齢船員活用等への対応を図る必要がある。

11. 組合員各社に向けての提言

- (1) 小型船の船員確保対策は、船主、オペレーターが協力して実施する必要がある。
- (2) ベテラン船員の多数退職によりレベル低下が懸念され、技術の伝承を早急に行う必要がある。
- (3) 新卒採用数の増加と併行して、若年船員の退職防止と業界内へのつなぎとめ対策を図る必要がある。
- (4) 女性船員の確保・活用をさらに進める必要がある。
- (5) 船員年齢層の大きな山が60歳以上へと移行していく中、安全確保のため労務分担見直しと労務軽減をさらに進める必要がある。

以上